

このページでは、政策ビジョン研究センターが現在最も重要視しているトピックスを中心に、そのときどきのホットニュースをお届けします。

## 被災の違いを踏まえた地域新生を

### 注目すべき4つのパターン

政策ビジョン研究センターでは、震災に関する関連の学術機関からの提言や解説、調査結果等をテーマごとにまとめた「震災復興政策支援サイト」を作成し、公開しています。このサイトは特定分野にとらわれず、幅広く考えるときに役立つ情報を提供するプラットフォームとなることを目指しています。コンテンツは当センターオリジナルのものに加え、当センターに寄せられた提言やシンポジウム等の公開資料、寄稿記事等となっています。

今回は政府の復興構想会議のメンバーで、当センター運営委員でもある大西隆教授に、被災地の状況を踏まえた地域新生のアイデアをお聞きしました。

被災地の被害状況には多様性があり、今後の復興は、それぞれのケースにどう対応していくかという難しさがあります。大西



大西隆教授（工学系研究科）

教授によると、大きく4種類のパターンに分類できるそうです。以下、大西先生の発言の抜粋です（詳細は震災復興政策支援サイトをご覧ください）。

1 つは漁村集落が全滅した地域。2 つ目は陸前高田が典型ですが、市のまとまった市街地が被災した地域。3 つ目は釜石や大船渡のように中心市街地がダメージを受け、他は残っている地域です。こうしたケースは同じ場所で復興しないと、中心がなくなるため、被災地域だけ高台に移すことはできにくいという問題があります。4 つ目は遮るものがないため、広域にわたって浸水が見られた平地部です。

被災地対策として、高台を作ることがややキャッチフレーズ的に出ている面もありますが、このように地域ごとに異なる被災状況があることを踏まえた復旧・復興対策を考えていく必要があります。

三陸自動車道は救援のために随分役に立ちました。この高速道路は主要なところが、

一定の高さを持つ盛土構造で造られており、ある程度浸水を止めたとも言われています。現状は部分開通ですが、これが全部開通し、さらに仙台の南の東部道路ともつながると、三陸自体が縦につながることになります。その場合、地域再編が起こることも予想されますが、災害時の幹線道路として必要だと地元からも期待されています。

復興は地域主体で自律的に行われていく必要があります。復旧のために投資を行っても、それが地元の経済活動に結びつかないと、その後落ち込むことが予想されます。難しい技術であれば技術訓練をするなどして、できるだけ地元の人が雇用機会を得、復旧・復興過程に参加していく仕組みをつくるのが重要です。

## 震災復興政策支援サイト

当センターでは、東日本大震災に関する当センターおよび関連の学術機関からの提言や解説、調査結果等を下記のテーマごとにまとめ、発信しています。これまでに発信した主要なコンテンツは下記になります。



Fukushima after 3.11  
Photo by Neil Oghilby

### 復興への提言

科学的なエビデンスに基づく政策提言を行うことを使命とするセンターとして、当センター及び関連機関の震災復興に関する研究成果を発信します。

- 菅総理への提言 日本の地域「新生」ビジョン（有識者メンバー）
- 緊急提言：「日本の再建に向けて」（日本工学アカデミー会員有志）
- 震災後の課題（城山英明 教授／The Economist の記事）
- 大震災復興プランはゼロベースの発想に転換を（森田朗教授）
- 東北関東大震災復興に向けての6つの視点（坂田一郎教授）

### 被災地の生活支援

被災地のニーズを踏まえ、被災者や被災企業の方々に向けて、実質的に役立つアイデアやシステムを提案します。

- 企業間つながり検索システム「SMEET」（坂田一郎教授）
- 医療・介護に関する事務連絡ポータルサイト（秋山昌範 教授）
- 被災者の声に基づく課題分析調査（松浦正浩 特任准教授／公共政策大学院）

### 地域新生

震災の教訓と課題を踏まえ、今後どのような未来を設計すればよいか。未来都市およびまちづくりの観点から提案します。

- 被災地主導のまちづくりを（大西隆 教授・工学系研究科）
- 持続可能な「ヘルスケア」のかたち（水口哲 氏・博報堂）

### 原発対応

原子力発電所の事故に関連して、危機管理体制や情報発信のあり方、汚染水の放出に関連するルール等を専門の観点から解説します。

- 福島第一原子力発電所における汚染水の放出措置をめぐる国際法（西本健太郎 特任講師／公共政策大学院）
- 広報と危機管理（藤田正美 客員研究員）
- 福島第一原発4つの「なぜ」（諸葛宗男 特任教授）

### 電力需給対策

今後の電力需給の見込みを調査・分析し、需要面での工夫や具体的な節電のアイデア、エネルギー供給の将来的見通しを紹介します。

- 大震災による東日本の電力不足に関する緊急提言（公益社団法人 化学工学会）
- エネルギー需給の今から将来を考える（荻本和彦 特任教授・岩船 由美子准教授／生産技術研究所）

### 再生への視点

震災を転機として日本はどう再生しうるのか。現在私たちが直面している、国内政治や政策上の課題について考察し、ありうる選択肢を論じます。

- 原発と核兵器 危険直視し具体策へ道を（藤原帰一 教授／法学政治学研究科）
- 災厄と評論 霧の中で選択肢を探る（藤原帰一 教授／法学政治学研究科）